ねぎ

○長ねぎ栽培について

病害虫の発生が更に多くなる時期ですので、圃場を確認しながら適期防除に努めましょう。

【病害】

梅雨入り以降、気温は低めで推移し、定期的な降雨により湿度が高く、病害の発生が非常に多くなっています。

・軟腐病　オリゼメート粒剤、ヨネポン水和剤、スターナ水和剤、Ｚボルドー　など
・白絹病　モンカット粒剤、モンガリット粒剤、モンカットフロアブル40　など
・べと病　リドミルゴールドＭＺ、レーバスフロアブル、フォリオゴールド　など
　※今年は特に多く発生しています!!
・さび病　ラリー乳剤、オンリーワンフロアブル、アミスター20フロアブル　など
・黄色斑紋病斑対策のため、黒斑病（葉枯病）の防除をしましょう。
　ロブラール水和剤、ポリベリン水和剤、テーク水和剤など

※夏ねぎの収穫が始まっているので、収穫前日数に注意しましょう。

【害虫】

今後気温が高くなれば、益々害虫の発生が多くなるので注意。昨年は夏場の干ばつでネギアザミウマが多発しました。

・ネギアザミウマ　ダントツ粒剤、ハチハチ乳剤、アグロスリン乳剤、ディアナＳＣ　など
　※多発した場合は、系統が異なる剤や遅・速効剤の組み合わせによる混合散布が効果的です。
・ネギハモグリバエ　リーフガード顆粒水和剤、ベストガード粒剤など

山うど

○山うど栽培について

【摘芯について】

・倒伏軽減のため、茎長80～100cmで摘芯します。
・本葉12～15枚時（お盆頃）、頂部に花蕾ができた頃が摘芯適期であるが、それ以前に倒伏する危険がある場合は早めに摘芯します。

	品種特性	【摘芯時期の目安】
紫芽の白	花蕾形成が早い	【７／下旬～８／中旬】
群豊白	わき芽の生育が旺盛	【８／上旬～中旬】
東武鯉玉	秋芽が発生しにくい	【７／下旬～８／中旬】
愛知坊主	風に揺すられると秋芽になる	【８／上旬～中旬】

【排水対策について】

・うどは湿害に弱いため、排水不良の圃場では明渠を掘るなどの対策を図りましょう。

【病害虫防除について】

・アブラムシ類、カミキリムシ、メイガの発生を確認し、多発する場合には薬剤で防除しましょう。
・スミチオン乳剤1,000倍（アブラムシ、センノカミキリ、ウドノメイガ）
・カルホス粉剤６kg／10ａ（センノカミキリ）
・アドマイヤーフロアブ2,000倍（アブラムシ類）

みょうが

○みょうが栽培について

【根茎腐敗病防除について】

・葉鞘や根茎が侵され、地上部は枯死する。多湿条件では病斑部に薄い白色綿毛状のかびを生じます。
・土壌病害で、７月上旬以降に高温・多雨条件が続くと多発する可能性があります。
・防除薬剤は、リドミル粒剤やユニフォーム粒剤は収穫30日前のため、８月に収穫するほ場では使用できませんが、９月以降収穫する場合でリドミル粒剤やユニフォーム粒剤を１回使用した場合のみ、使用できます。
・薬剤使用量は、リドミル粒剤（20kg／10ａ）又はユニフォーム粒剤（18kg／10ａ）どちらかを散布して下さい。また、リドミル粒剤やユニフォーム粒剤が使用できない場合には、ランマンフロアブル500倍又はオラクル顆粒水和剤2,000倍を３㍑／㎡（3,000㍑／10ａ）使用して下さい。

アスパラガス

○アスパラガス栽培について

露地栽培では、６月末から立茎（茎を１本残して栄養を蓄える）に入るので、伸ばした茎が折れないように管理しましょう。追肥の時期にもなりますので、Ｓ646やジシアンなどを生育に応じで散布してください。

・茎枯病　梅雨時期と９月に発生します。被害残渣から発生しますので、前年に発生した畑では注意しましょう。
・斑点病　茎枯病と同じく被害残渣から発生します。風通しが悪くなると被害が大きくなるので注意しましょう。

きゃべつ

○きゃべつ栽培について

７月中旬には圃場の準備をし、また、連作障害を抑制するために土壌処理剤を散布しましょう。さらに、夏場は干ばつ被害になりやすいので、カルシウム等の資材も投入しましょう。

定植時期は７月下旬から８月上旬です。遅くなると気温が低下するため結球しづらくなります。高単価を狙える９月中旬から10月上旬に出荷できるよう定植は遅れないようにしましょう。

定植前には、スタークル顆粒水和剤やプレバソンフロアブル５をトレーに灌注処理し、初期の害虫防除をしましょう。気象条件により異なりますが、２週間～３週間は効果が継続します。

定植後は、干ばつ状態になりやすいためスプリンクラーなどの冠水設備の使用をお勧めします。さらに、干ばつに負けないようにするために、定植後には、速効性の肥料を若干量施用し活着がスムーズに進むようにしましょう。

畝間・株間の除草は徹底しましょう。

牡牛座（4・20～5・20）　注意力が散漫気味。慣れている作業でも油断は禁物です。リラックスするには趣味や好きなことに励むとグッド